

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	学校図書館図書整備事業		
部 局 名	教育局	課(室)名	学校教育課
		電話番号	087-839-2616

【事業全体概要】まちづくりの目標：心豊かな人と文化を育むまち

総合計画	政策	生きる力を育む教育の充実		主体	市
	施策	学校教育環境の整備		期間	平成 20年度～平成 27年度
	基本事業	教育機能と就学支援の充実		総事業費	364,896
重点取組項目				特定財源	国
関連根拠法令等					県
事業区分		自治事務	種別	市中・事後	市債
事業種類		単独			他
				一般	364,896
事業の概要	高松市子ども読書活動推進計画に基づき、学校図書館図書資料の充実を図り、平成 22 年度から 3 年間で、国の示す「学校図書館図書標準」を満たす。				

【事業の目的と指標】

対象	高松市立小・中学校	対象指標名	市立小・中学校数
手段	高松市子ども読書活動推進計画に基づき、学校図書館図書を購入する。	活動指標名	学校図書館図書購入冊数
意図	学校図書館の蔵書の整備が進み、読書センター、学習・情報センターとしての機能が充実する。	成果指標名	学校図書館図書標準達成校の割合
結果	児童生徒の読書活動の充実が図られるとともに、学習等に効果的に活用され、学力の向上につながる。	効率指標名	トータルコスト 100 万円当たりの図書購入冊数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	校	71	73	71	69	平成 27年度
活動指標	冊	22,392	22,291	21,886	22,560	平成 27年度
成果指標	%	100	100	100	100	平成 27年度
効率指標	冊	570	553	544	561	平成 27年度
トータルコスト	[千円]	39,281	40,320	40,225		
(事業費)	[千円]	36,385	37,368	37,154		
(職員人件費)	[千円]	2,896	2,952	3,071		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
平成 13 年 12 月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、子どもの読書環境の整備について、国や地方公共団体の責務が明示された。	子どもの読書活動の推進における学校図書館の役割は重要である。新学習指導要領においても、学校図書館の活用について明示されており、読書センター、学習・情報センターとしての機能を担うことができるよう、学校図書館図書の整備が求められる。	豊かな心をはぐくむ「読書センター」としての機能と、児童生徒が自ら学ぶ「学習・情報センター」としての機能を果たし、読書活動の活性化を図るために、継続した図書整備が必要である。	学校図書館図書整備の充実により、学校図書館図書標準を達成した学校の割合が増加するとともに、児童生徒の利用も高まっている。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か
A 法令等により市が実施しなければならない 子どもの読書活動の推進に関する法律に基づく事業であり、市が実施しなければならない。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか
A 貢献度が大きい 児童生徒の読書活動や学習活動を充実させ、豊かな心をはぐくむことを目的としていることから、本事業の市の施策への貢献度は大きい。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか
A 必要性はない 学校図書館図書整備の充実により、学校図書館が読書センター、学習・情報センターとしての機能を担い、児童生徒の豊かな心の育成と確かな学力の向上に大きく貢献している。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか
A 影響は大きい 児童生徒が読書や学習に親しむ環境が整備されず、読書意欲、学習意欲が低下する恐れがあり、影響が大きい。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか）
D 事業について情報提供している 保護者等に学校図書館の整備状況について、必要に応じて情報提供を行っている。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか
A 向上余地はない 学校図書館図書整備が充実することにより、学校図書館が読書センター、学習・情報センターとしての機能を十分に果たすことができ、児童生徒の豊かな心をはぐくむとともに、学力の向上につながる。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか）
A 実施済み/実施する必要がなかった 平成22年度から3年間で、全ての小・中学校が学校図書館図書標準を達成するよう、計画的に図書整備費の配当を行うこととした。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか
B 目標どおり達成できた 各小・中学校の学校図書館図書整備の充実が図られ、学校図書館図書標準達成校の割合が向上し、児童生徒の学習環境の改善が図られた。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか
B 目標どおり達成できた 各小・中学校の学校図書館図書標準達成率に基づき、計画的に図書整備費を配当することにより、計画的な図書購入を行うことができた。
10. コスト縮減ができたか
D 縮減できなかった 事業の成果を下げずにコストを削減する余地はない。

【一次評価】

評価区分	継続																
高松市子ども読書活動推進計画に基づく学校図書館図書資料の充実により、学校図書館図書標準達成校が増加している。さらに、児童生徒の自主的・主体的な学習や読書活動が推進するよう、今後も学校図書館の活性化を図っていく必要がある。																	
改革案																	
内容	期待効果																
学校統合に伴う廃棄予定図書についての取扱いについて、学校の事務軽減を図ることができるよう検討する。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td rowspan="2">向上</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持				低下			
成果	向上			コスト													
			削減	維持	増加												
	維持																
低下																	
	阻害要因																

【二次評価】

評価区分	継続
高松市子ども読書活動推進計画の推進により、学校における読書環境の充実が図られている。今後も児童生徒の自主的・主体的な学習や読書活動が推進するよう、学校図書館の活性化を図っていく必要がある。	